

9分野18項目にわたり“知事への要請を実施”

8月26日、群馬県庁において、2015年度 政策・制度要求と提言を大澤知事に提出し、意見交換を行いました。

本年も、1万人を超える県民からの意識調査の集約結果を踏まえ、雇用問題をはじめ9分野18項目にわたって、政策要求に取りまとめました。

政策・制度要求と提言は、政策フォーラム（7/26一般市民を含め176人参加）で寄せられた「介護労働者などの労働環境の改善・意見交換の場の設置など」意見を踏まえ組織内論議を経て確認したものです。

提出に先立ち、北川会長から「県民からの声として、真正面から受け止めていただき、改善に向けてご努力いただきたい」と要請書を手渡し、大澤知事からは、「現在、県として進めようとしている施策と同じ思いの要望も多数ある。県民1万人からの意識調査は県としても大変参考になる資料であり、本日頂いたご意見を参考に施策展開に活かしていきたい」とのコメントの後、意見交換を行いました。

政策要求を基に、若者の県外流出の防止に向けた働く場の確保や公共交通体系の整備におけるまちづくりを含めた総合的な対策、富岡製糸場の有効活用による体験型の実施や観光振興対策など活発な意見交換を行いました。



知事に提言書を手渡す
北川会長（左）

提言内容

雇用・労働

1. 県内の中小企業のPR強化と若者の県外流出防止に向けた取り組み
2. 正規労働者の雇用拡大を行った企業に対する支援施策の強化
3. 介護労働者の労働条件の向上による就業支援
4. 障がい者の就労環境の整備と雇用の促進

福祉・健康

1. 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域包括支援センターのPR強化
2. 健康寿命に重点を置いた支援策の推進

子育て支援

1. 保育サービスの質・量の抜本改善と子育て支援施策の推進

行政運営

1. 公契約条例の制定
2. 高齢社会を見据えた公共交通を中心としたまちづくり

教育

1. 体験学習を通じた社会人として役立つ教育の推進
2. キャリア教育の推進

農・林政策

1. 森林再生に向けた緑の県民税の活用を含めた対策の強化

環境

1. バイオマス・小水力の有効活用による再生可能エネルギーへの移行推進
2. 放射性物質で汚染された廃棄物・表土などの適切・迅速な処理

防災

1. 防災対策の強化に向けた環境整備

喫緊の課題

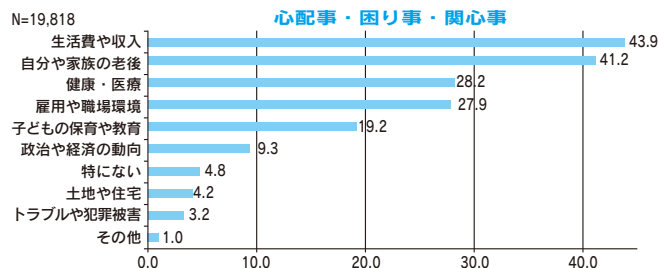
1. 子宮頸がんワクチン接種
2. 高崎コンベンション施設の建設問題
3. 世界遺産登録に伴う観光資源の有効活用

2014年 県民意識調査結果の概要

多くの県民にご協力をいただきました。県民意識調査の結果概要です。（2-3ページへ続く）詳細はHPで確認下さい。

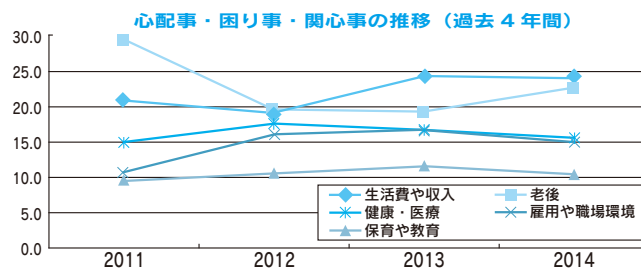
1. あなたの心配事・困り事・関心事は何ですか。

【2つまで選択】



生活費や収入面での不安が高く、自分や家族の老後不安にもつながっているものと考えます。

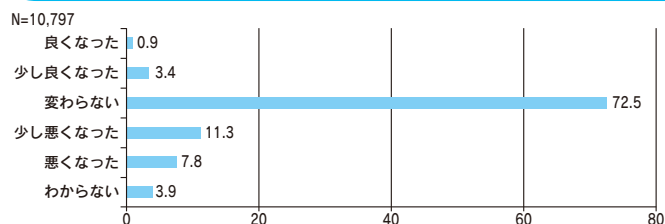
将来への不安を軽減し消費刺激策を有効に行うことで、税収増や景気動向を改善させる必要があると考えます。



毎年調査している『心配事・困り事・関心事』の上位5項目の経年変化では、昨年と同様な順位となっており、生活不安や先行きの不安がうかがえます。

また、老後不安が再び上昇傾向にあります。

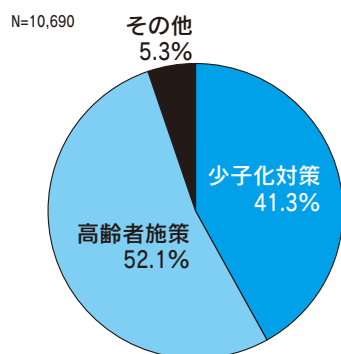
2. 景気が上向き傾向といわれていますが、この1・2年であなたの生活はどのように変わりましたか。【1つ選択】



消費増税を目前にした今回調査の生活実感は、変わらないの方が大半であり、年代別にみると、高齢者層を中心に悪くなったとの声が高くなっています。

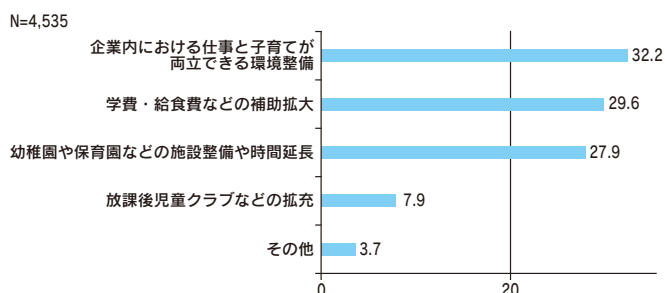
増税後、さらに生活実感として悪くなったとの声が高まることが想定され、景気動向にも影響が出ることが想定されます。

3. 4月から消費税が8%になり、増税分は社会保障財源に使われるといわれていますが、もっとも優先してほしいことは何だと考えますか。【1つ選択】



消費税の増税分は、高齢者対策の強化を求める声が少子化対策を上回る結果にあります。今後の高齢化率の高まりを見据えた対策を優先すべきが5割強で、少子化対策を求める声は、4割強となっており、バランスよく対策を行う必要がうかがえます。

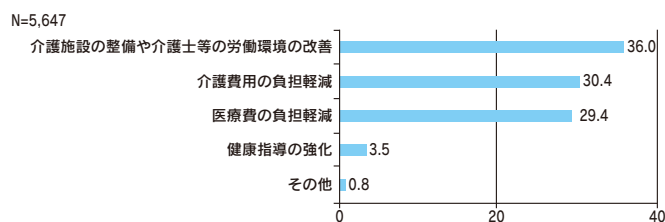
3-1. 少子化対策でもっとも優先すべきは何だと考えますか。【1つ選択】



仕事と子育ての両立に向けた環境整備を企業に求める声が多く高くなっています。

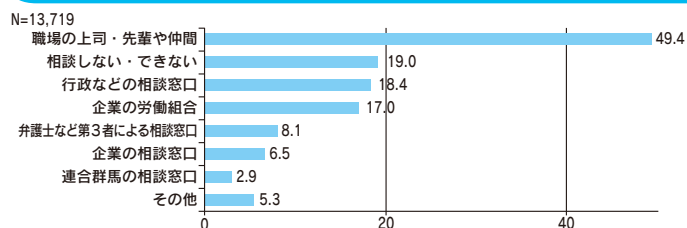
しかし、企業のみでは解決しがたい問題もあり、行政の支援と役割が重要になってくるものと考えます。

3-2. 高齢者施策でもっとも優先すべきは何だと考えますか。【1つ選択】



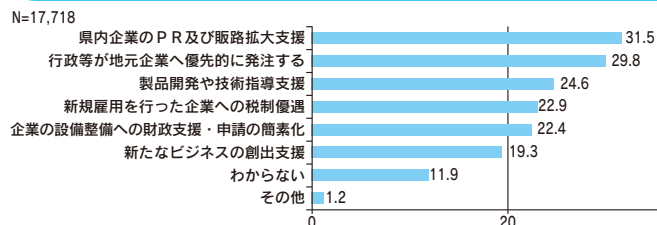
「介護施設の整備や介護士等の労働環境の改善」を求める声が高く、超高齢社会の到来の中でマンパワーを確保する必要があり、そのためには介護従事者の処遇改善が必要であるとの認識が高く、制度の改善や行政の指導・監督の強化を求めていることがうかがえます。

4. 働く上での悩み・困りごとを家族以外に相談する場合、どこに相談したいと思いますか。【複数選択可】



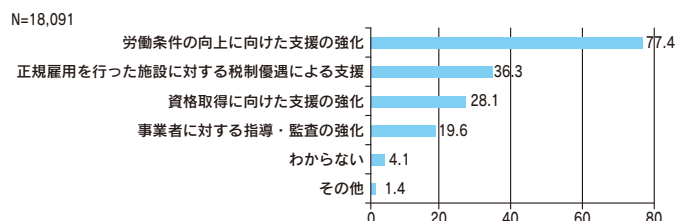
職場の身近な方へ相談される方が多い状況がうかがえます。職種によっては行政等の相談窓口を活用している状況ですが、約2割の方が相談しない（できない）となっており、「ひとりで悩まず、まずは相談を!!」との連合の取り組みの強化が求められると考えます。

5. 中小企業の活性化策としてどのような施策が有効だと考えますか。【2つまで選択】



県内企業のPR及び販路の拡大や行政における優先的な発注といった声が高く、地域における税財源を循環させながら県外へ打って出る施策を求めていることがうかがえます。

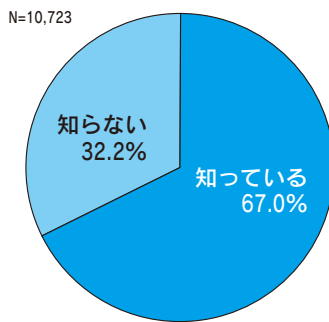
6. 医療や介護における人材不足が問題になっていますが、人材の拡充に向けた行政の役割で有効なものは何だと思いますか。【2つまで選択】



介護労働者の労働条件の改善を求める声が多く、労働環境の改善に向けた行政における支援のさらなる強化が必要と考えます。

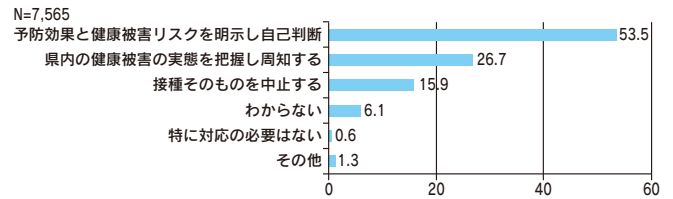
現状や問題点の把握は行政としても大きな役割であり、対策の強化が必要と考えます。

7-1. 子宮頸がんワクチンにより健康被害が起きていることを知っていますか。【1つ選択】



健康被害の認識は高いがワクチン接種の対象となる年代に近いほど、周知が行き届いていない状況がうかがえます。行政における役割の発揮を強化する必要があることがうかがえます。

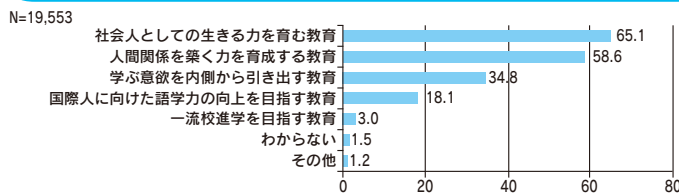
7-2. ワクチンの接種には、どのような対応が必要と考えますか。【1つ選択】



「予防効果と健康リスクを明示し自己判断」や「健康被害の実態を把握し周知」が高く、予防効果は期待しつつもリスクが十分把握・周知がされていないとの認識がうかがえます。

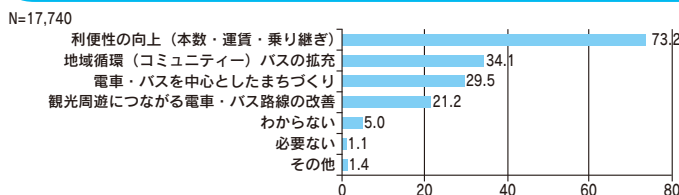
更なる周知に努める必要があります。

8. 学校教育のあり方について、優先すべきことは何だと考えますか。【2つまで選択】



「社会人としての生きる力」や「人間関係の構築」を求める声が高く、人と人とのつながりやコミュニケーションの重要性を指摘していることがうかがえます。

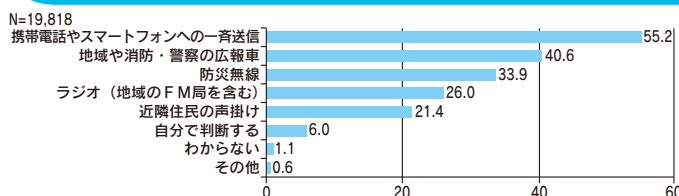
9. 公共交通の利用促進に向け必要なことは何だと思いますか。【2つまで選択】



「利便性の向上（本数や運賃・乗り継ぎ）」を求める声が高く、次いで「地域循環（コミュニティ）バスの拡充」となっています。

公共交通の利用促進にはまちづくりとセットで考え、息の長い取り組みとして対策の強化が必要と考えます。

10. 台風などに伴う豪雨や土砂災害、竜巻などによる突風被害が報告されていますが、避難指示はどのような対応が有効と考えますか。（停電を想定してください）【2つまで選択】



「携帯電話やスマートフォンへの一斉送信」や「地域や消防・警察の広報車」など、情報をいち早く伝える、また、情報提供を求めていることが考えられます。

該当エリア内に対する災害危険予知情報の有効活用が必要であると考えます。

パートタイムで働く 仲間の集いを開催

組織をこえてパートタイムで働く仲間が交流

非正規労働者支援として、今年の4月に改正された「パートタイム労働法」の周知を目的に、パートタイムで働く仲間の集いを高崎・太田の2会場で開催しました。

高崎会場は後藤克己県議、太田会場はあべとも県議に「配偶者控除の現状と今後の見直し論議について」の説明をしていただきました。また、グループディスカッションとして、「仕事と家庭を両立するために」をテーマに様々な意見が交わされました。

高崎会場（7/5）

エテルナ高崎で開催し、18名が参加しました。

後藤県議は、『夫が正社員で妻が専業主婦』というモデルが崩れている中で、見直しの論議は避けられない。しかし、単なる配偶者控除の廃止は実質的な増税であり、この財源をどう使うかが重要」と説明。

グループディスカッションでは「短時間勤務制度に助けられた」、「上司や周りの人の理解に支えられた」などの意見が挙げられました。



太田会場（8/2）

ダニエルハウスで開催し、17名が参加しました。

あべ県議は、「配偶者特別控除ができた背景から政府が見直しを行う視点、フルタイム・パートタイム労働者の賃金格差の推移」などを説明。

グループディスカッションでは「家事と育児は夫婦で分担できるよ



う、夫の理解が重要」などの意見が出されました。



平和の尊さを感じ、恒久平和を願う思いを!!

同じ悲劇が繰り返されぬように!

【広島派遣団】

8月5日～7日、広島平和行動（産別12名）に参加しました。

69回目となる今年の広島行動は、43年ぶりの大雨にみまわれ中での開催となりました。

傘をさしてのピースウォークでは、足元がぬかるみ、とても歩きづらい中でしたが、皆、ピースガイドの説明を真剣に聴き、「連合平和ヒロシマ集会」では、皆さんに協力いただいた折鶴の献納や被爆体験証言を拝聴するとともに、平和アピールを参加者全員で確認しました。

また、「平和記念式典」への参加、資料館の見学など肌で感じ、被爆体験講和など恒久平和への認識を高めました。

被爆体験者の「つらい思いを乗り越え、話ができるまで50年かかった」との言葉が印象に残り、同じ悲劇を繰り返さない思いを共有しました。

同じ悲劇が繰り返されぬよう、思いを託し折鶴を献納



当時の悲惨さを学ぶ

【長崎派遣団】

8月8日～10日、長崎平和行動（産別・地協など12名）に参加しました。

1日目は、「連合平和ナガサキ集会」へ参加し、次世代への継承として、被爆者の訴えやピースメッセージなどを聴き、新たな取り組みである「高校生1万本えんぴつ運動」への協力として、鉛筆3,000本を高校生平和大使へ届けました。

2日目は、「被爆69周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」へ参加し、長崎平和宣言や平和への誓いを全体で共有するとともに折鶴献納を行った後、連合長崎によるピースウォークへ参加しました。

恒久平和へ願いをこめ
折鶴を献納



高校生平和大使へ
鉛筆3,000本を届ける

2015年統一地方選挙「第2次推薦候補者」紹介

推 薦	候補者名	選挙区・要請団体	推 薦	候補者名	選挙区・要請団体
	ごとう かつみ 後藤 克己	群馬県議会 (高崎市) 自治労【現2】		あ べ ともよ 阿部 知世	群馬県議会 (太田市区) 太田地協【現2】
	かどくら くによし 角倉 邦良	群馬県議会 (高崎市) 高崎地協【現2】		かねこ わたる 金子 渡	群馬県議会 (渋川市区) 渋川地協【現2】
	なかじま てるお 中島 輝男	高崎市議会 政労連【新】	支 持	候補者名	選挙区・要請団体
	く ぼ た たかし 久保田 俊	太田市議会 電機連合【現2】		せき かん 関 常明	中之条町議会 吾妻地協【現1】
	や ぎ た やすゆき 八木田恭之	太田市議会 自治労【新】	<告知> 第19回定期大会 ■と き 10月25日(土)13:00~ ■ところ 伊勢崎市文化会館 大ホール ■内 容 ○活動報告、決算・監査報告 ○組織・財政検討委員会報告 ○活動方針(案)、予算(案)、役員選出 ○統一地方選挙特別決議(案) 		
	たかやなぎ かつみ 高柳 勝巳	沼田市議会 J P 労組【現3】			